

13. 未来へ、宇宙とAIをやさしく学ぶ 科 (2027年度)

【 月 曜日 授業予定表 】

								午 後		
	回	月	日	曜日	講座数	講義テーマ	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	4	7	水	① ★	①入 学 式 (大阪国際会議場)				
	2		12	月	1	AIは世の中をどうかえるか	松原仁：京都橋大	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション	
	3		19	月	2	宇宙の様々な天体	青木成一郎：京情報大	コードイオリエンテーション	終了後班役割説明	
	4		26	月	3	脳とコンピュータの違い AIの誕生	簡井博司：元大工大	自主活動	・班各担当・班長決定 各担当別会議（代表者決定他）	
	5	5	10	月	4	月の科学の最前線	寺田健太郎：大阪大	〃	クラス委員長決定、遠足行先検討、班員交流	
	6		17	月	5	★ 校外学習 京都市青少年科学センター プラザ利用予定				
	7	24	月	6	天文学の歩みと恒星・銀河までの距離測定	野上大作 京都大	自主活動	スマホでAIを楽しむ（広報GデジタルPJ北川講師）		
	8	6	7	月	7	環境に応じて柔軟に変化する脳	守田知代：NICT	〃	遠足のスケジュール確認	
	9		14	月	② ★	②遠 足 (日程変更可 1学期中に実施)				
	10		21	月	8 ③	ブラックホール	石原秀樹：大工大	③社会への参加活動（準備活動）（活動事例研究）		
	12		28	月	9	宇宙の歴史	青木成一郎：京情報大	自主活動	班別テーマ検討	
	13	7	5	月	10	人・ロボットと共生する脳	守田知代：NICT	〃	班別テーマ検討	
	14		12	月	11	隕石から判る太陽系の歴史	寺田健太郎：大阪大	〃	フェスタのクラス発表テーマ内容検討	
		8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	6	月	12	AIの基礎	福井健一：関西大	自主活動	フェスタのクラス発表テーマ内容検討	
	16		13	月	13	物質・反物質の謎、ダークマターの最新研究	清矢良治：大工大	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討	
	17		27	月	14	現在と未来のAIの応用	布目淳：京都工芸繊維大	〃	コードイフェスタ発表準備	
	18	29	水	④ ★	④コードイ健康まつり (日程・場所 未定)					
	19	10	4	月	15	ロボット誕生の歴史とロボットの未来	簡井博司：元大工大	自主活動	コードイフェスタ発表準備	
	20		18	月	16	恒星の不思議	野上大作 京都大	〃	コードイフェスタ発表準備	
	21	25	月	17	AIを活用したヒトと病原細菌・腸内細菌との新たな関係の構築	山崎聖司：大阪大学	〃	コードイフェスタ発表準備		
	22	11	1	月	18	太陽と地球の関係 オーロラを科学する	菊池崇：名古屋大	自主活動	コードイフェスタ発表準備	
	23		8	月	19	手術支援ロボット	東條剛史：(株)メディカロイド	〃		
	24		17	水	⑤ ★	⑤コードイフェスタ (日程・場所 未定)				
	25		29	月	20	江戸時代末までの日本の天文と暦	青木成一郎：京情報大	〃	班別テーマ検討	
	26	12	6	月	⑥ ★	⑥社会への参加活動・・・（仮日程：1学期～3学期の間に活動日を1回設定）				
	27		13	月	21	自主企画講座（日程変更可）		自主活動	成果発表会準備	
	28		20	月	22	災害や宇宙で活躍するロボット	岩野優樹：桃山学院大	〃	成果発表会準備	
					冬 休 み					
3 学 期	29	1	17	月	23	ロケットと次世代宇宙船	比江島俊彦：大工大	自主活動	成果発表会準備	
	30		24	月	24	フィジカルAIとは何んなのか、私達の未来は変わるのか？	簡井博司：元大工大	〃	成果発表会準備	
	31	2	7	月	25	宇宙はどのように始まったか	石原秀樹：大工大	自主活動	成果発表会準備	
	32		14	月	26	脳科学からみた認知症 脳内で何が起きているのか	簡井博司：元大工大	〃	成果発表会資料まとめ	
	33		21	27	学習成果発表会					
	34			⑦	⑦修了式					
	35			28	月	⑧ ★	⑧・⑨卒 業 旅 行(推奨 日帰り)			
	36			29	火	⑨				
	授 業（自主企画、成果発表会含む）				27（講座数列1～27）					
	学習事業（①～⑨）				9（講座数列①～⑨）				20260914	
	合 計				36					

20260914

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。